

事例 3

スイス向けにりんご生果実の輸出に取り組む自治体・生産者

【生産園地の概要】

- ・ 品種：県産ブランドりんご 1 品種
- ・ 栽培面積：30 a
- ・ 本数：117 本
- ・ 輸出を目指す生産者数：3 名

【生産者の生産園地管理対応】

生産者は、当該生産園地について次のような管理体制を行っている。

- ① りんごは無袋栽培
- ② 県作成のEU向けに対応した防除暦に従った防除を実施
- ③ 園地管理の記録は、防除の実績を含めて保管

【相談者が抱える課題等】

スイス向けりんご生果実を輸出する計画がある。スイスの検疫条件では、リンゴコシンクイ、輪紋病がない旨を記載した植物検疫証明書の添付が求められていると聞いている。専門家から当該病害虫に係る栽培管理や植物防疫所の栽培地検査に係る留意事項などについての必要なアドバイスが欲しい。また、スイスの残留農薬基準値が分からないので情報が欲しい。

【支援等の内容】

<スイス向けリンゴ生果実の検疫条件の説明>

専門家から改めてスイス向けリンゴ生果実に係る検疫条件について説明した。

- ① スイスが検疫対象としている病害虫は、リンゴコシンクイ、輪紋病、*Grapholita prunivora*、*Rhagoletis pomonella* の付着がない旨を記載した植物検疫証明書の添付が必要である。このうち、*Grapholita prunivora* 及び *Rhagoletis pomonella* は我が国未発生であることから、対象となる病害虫は、リンゴコシンクイ及び輪紋病となる。



(りんご園の様子)



(園地の様子)

- ② 当該証明書を取得するに当たり、植物防疫所の検査官による栽培地検査を2回（栽培期間中と収穫前）受ける必要がある。検査の結果、リンゴコシンクイ及び輪紋病の発生がないことが確認された場合は、栽培地検査合格となる。
- ③ 栽培地検査は、当該園地を管轄する植物防疫所に栽培地検査申請書を提出し、検査日程を調整して行われる。
- ④ 栽培地検査合格後、最寄りの植物防疫所や輸出港を管轄する植物防疫所などに輸出検査申請書を提出して輸出検査を受ける。輸出検査に合格すると植物検疫証明書が発給されるのでこれを添付して輸出することになる。

The screenshot shows the Fedlex website interface. At the top, there are navigation links for 'Le Conseil fédéral' and 'Droit fédéral', along with a search bar and language options (DE, FR, IT, RM, EN). The main header includes the Swiss Confederation logo and the text 'Fedlex La plateforme de publication du droit fédéral'. Below this is a navigation menu with categories like 'Accueil', 'Procédures de consultation', 'Feuille fédérale', 'Recueil officiel', 'Recueil systématique', 'Traités', 'Registre des accords sectoriels UE', and 'Liens'. The main content area displays the breadcrumb path: 'Accueil > Recueil systématique > 9 Économie - Coopération technique > 91 Agriculture > 916.201 Ordonnance du DEFR et du DETEC du 14 novembre 2019 relative à l'ordonnance sur la santé des végétaux (OSaVé-DEFR-DETEC)'. The title of the ordinance is '916.201 Ordonnance du DEFR et du DETEC relative à l'ordonnance sur la santé des végétaux (OSaVé-DEFR-DETEC)'. A sidebar on the left provides 'Informations générales' such as 'Ce texte est en vigueur', 'Abréviation: OSaVéDEFRDETEC', 'Décision: 14 novembre 2019', 'Entrée en vigueur: 1 janvier 2020', 'Source: RO 2019 4773', and 'Langue(s) de la publication: DE FR IT'. The main text area includes the date 'du 14 novembre 2019 (État le 14 décembre 2022)', the responsible departments (DEFR and DETEC), and the legal basis: 'vu les art. 4, al. 3, 29, al. 2, 3 et 5, 29b, 30, 33, al. 1, 2 et 5, 38a, 39, al. 2, 40, al. 1, 49, al. 6, 53, al. 1, 59a, 60, al. 2, 75, al. 5 et 7, 96, al. 1, et 97, al. 4, de l'ordonnance du 31 octobre 2018 sur la santé des végétaux (OSaVé)^{1,2}'. It also lists 'Section 1 Objet' and 'Art. 1'. A footer note states: 'La présente ordonnance contient les dispositions d'exécution de l'OSaVé. Elle fixe en particulier les organismes de quarantaine et les organismes réglementés non de quarantaine ainsi que les marchandises qu'il est interdit'.

(スイス連邦の植物防疫に係るホームページ)

<https://www.fedlex.admin.ch/eli/cc/2019/787/fr>

<栽培管理の状況確認>

- ① 当該園地について、病害虫の発生状況等を確認したところ、輪紋病、リンゴコシンクイの発生が見られず、また、他の病害虫についても適切に管理されていたことから、引き続き適切に栽培管理するよう助言した。
- ② 園地内の下草は刈り込まれ、又樹下には反射シートが敷かれているとともに、落下果実等も認められなかったが、病害虫の発生源になり得る下草や落下果実

については引き続き適切な除草・処分するなど適宜実施するよう助言した。

<残留農薬に係る情報提供>

- ① スイス連邦のホームページに掲載されている残留農薬基準の閲覧方法等について情報を提供した。
- ② 当該ホームページに掲載されているりんご生果実に係る残留農薬基準値を整理するとともに、日本の残留基準値との比較表などを作成し、情報提供した。

The screenshot displays the Fedlex website interface. At the top, it identifies the Swiss Confederation and the 'Fedlex' platform. A navigation menu includes 'Accueil', 'Procédures de consultation', 'Feuille fédérale', 'Recueil officiel', 'Recueil systématique', 'Traités', 'Registre des accords sectoriels UE', and 'Liens'. The main content area shows the breadcrumb '2017 > Mars > 26 > RO 2017 793'. On the left, a sidebar provides 'Informations générales' such as the decision date (16 décembre 2016), publication date (21 mars 2017), and the competent authority (Office fédéral de la sécurité alimentaire et des affaires vétérinaires). The central part of the page features the title 'RO 2017 793' and the full text of the ordinance: 'Ordonnance du DFI sur les limites maximales applicables aux résidus de pesticides présents dans ou sur les produits d'origine végétale ou animale (OPOVA)'. Below the title, it states the date 'du 16 décembre 2016' and the issuing department 'Le Département fédéral de l'intérieur (DFI)'. A QR code is also visible on the document page.

(スイス連邦の残留農薬基準値のホームページ)

<https://www.fedlex.admin.ch/eli/oc/2017/151/fr>

【相談者の対応】

相談者は輸出用に作成された防除暦に基づき当該園地の病虫害防除を行うとともに定期的な除草を行うなど園地管理を進めた。

その後、植物防疫所と栽培地検査に係る日程調整を行い、2回の検査を受けた。栽培地検査では、スイスが対象としている病



(栽培地検査を受ける相談者)

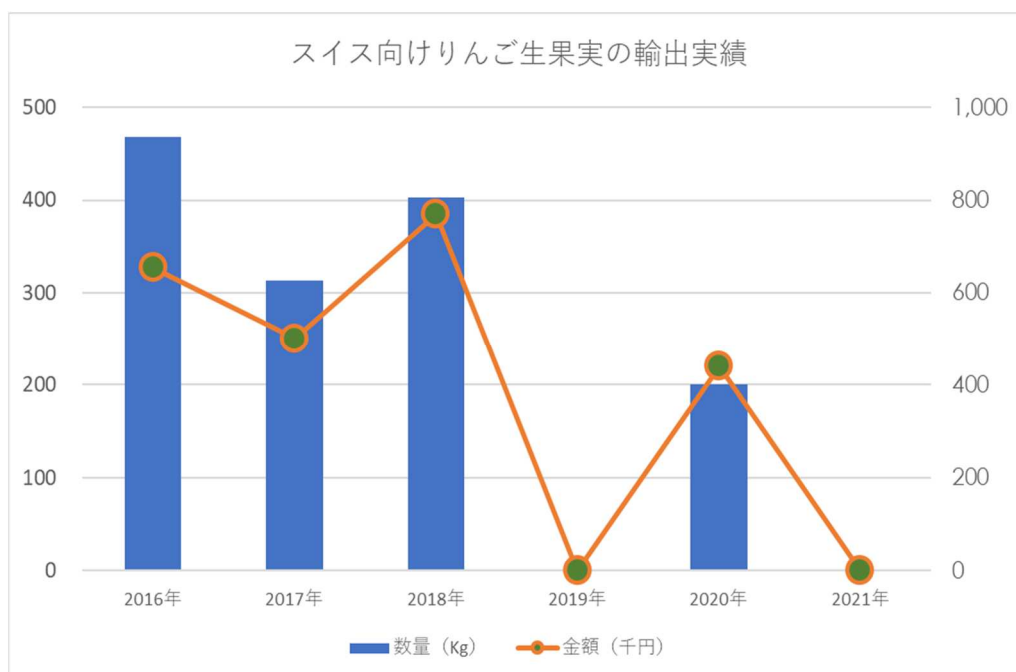
害虫の発生が認められず、合格となった。

輸出検査でも検疫病害虫は発見されず、植物検疫証明書を取得して、スイス向けの輸出を実現させた。

【評価・所感】

相談者は、輸出事業者からのオーダーに応じて、スイス向けりんごの生産体制を構築し、適切な防除、園地管理を実現させている。高品質なりんごの生産を通じて国内のバリューチェーンの構築に結びつくなど相乗効果も期待されている。また、県内の他の生産者との連携などにより、県内産果物の高評価につながることも期待される。

スイス向けりんご生果実の輸出実績は、それほど多くなく、前年及び3年前の輸出量は0Kg（財務省の統計上）となっている。更に、EU向けも輸出実績が少なく、日本の美味しいりんごを継続的に輸出ができるようになれば、将来の輸出増に期待ができる。課題解決支援事業としては、スイス及びEU向けを含め、生産者など幅広く植物検疫条件の啓蒙や残留農薬対策など支援していくこととする。



(財務省貿易統計 HP データから作成)